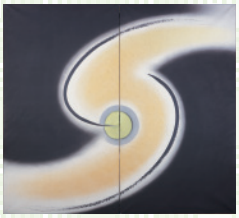
佐久市立近代美術館
開館30周年記念 所蔵名品選

佐久市立近代美術館が昭和58年の開館以来、収集してきた美術品は約3,000点となりました。当美術館の収蔵品は昭和に制作されたものが中心ですが、平成の作品も増加し、その時代の影響を受け、少しずつ変化しています。

〔時代〕展は、収蔵品を制作された年代で分け構成した展覧会で、第3会期は〔平成/1989-2013〕です。収蔵品から選定した現代の作品73点を、時代の一端を感じつつお楽しみください。

〔時代 平成 1989－2013〕



佐藤　多持（さとう たもつ・1919−2004）
《白174》1996年制作
水芭蕉曼荼羅シリーズの一点。水芭蕉に美を見出した佐藤は、写実風から次第に、水芭蕉を題材にした抽象表現に美の本質を求めて、制作を続けた。本シリーズの制作は佐藤のライフワークとなった。

平松　　譲（ひらまつ ゆずる・1914−2013）
《ゑびすガーデンプレイス》2000年制作
暖かい印象を受ける風景画は、レンガ色の建物から遠景の東京タワーまでしっかりと構成され、洋画を研究してきた作家の技量を感じさせる。風景を描いてきた作家の経験と、変化を続ける東京の組み合わせが、時代を写しとった実感のある風景画となった。

辰野登恵子（たつの とえこ・1950− ）
《June-10-89》1989年制作
色彩豊かな平面作品を発表しつづける日本を代表する抽象作家。本作は「しかく」「まる」といった単純な図形を組み合わせ、色を重ねる。鑑賞者の眼に、心地よいイリュージョンをみせる。

岡田　高弘
（おかだ たかひろ・1959− ）
《微香》2000年制作
画面をくまなく描きつつ、軽やかさを保っている。実際は塗り込めることができない香りや風を、感じることができるよう、効果を上げている。

鷲見和紀郎（すみ わきろう・1950− ）
《ヴェールⅢ(セロニアス・モンクに捧ぐ)》1994年制作
作品原型制作にワックスを用いたヴェールのシリーズは、鷲見の代表作。上部からしたたるワックスの痕跡と、ワックスの量を表わすアルミニュウムの厚みは、具体的な物質から鋳造されたものだが、原型にはない内部の鮮烈な赤い塗料が、題材の非具象性を示す。

桜井　浜江（さくらい はまえ・1908−2007）
《海岸》1995年制作
1990年代の「海」の連作の一点。岸壁、波、水飛沫は異なる性質のものだが、同質の硬さを持って描かれる。そこに蓄えられた大きなエネルギーは、すべての物質に共通している。

高橋　克之（たかはし かつゆき・1967− ）
《お告げを聞く》2010年制作
かつて自身が制作した作品も新しい制作のための下敷きとし、次々と作品を生み出す。高橋自身は作品を「ぱらぱらマンガ」と称し、それは日々の取りとめのない事柄を記録していく日記にも似ている。

相笠　昌義（あいがさ まさよし・1939− ）
《金閣寺を見る人》2004年制作
有名な歴史建造物を見る人は、その風景に安堵する。相笠は観光客を観察し、画面に入れ込んでいる。その作品を見る我々もまた、画面の中の相笠に観察されてしまう。風刺的な印象があるが、否定の傾向に陥らないのは、根底に人間への強い関心があるからだろうか。

谷保 玲奈（たにほ れいな・1986− ）
《境界の腫れ物に触れる》2012年制作
水中生物と菌類を題材に、大胆な色彩で構成。画面を中心に世界が拡大していく。谷保が触れるのはこの世の境界か、精神的な限界か。ひとたび踏み込むと崩壊しそうな危うさを秘める。

【展示作家】相笠昌義・青木亨平・浅見錦龍・池田道夫・市川裕司・市野英樹・稲村雲洞・岩田とも子・宇佐美江中・大場再生・大橋 博・岡田節子・岡田高弘・奥田小由女・柿下木冠・柿原岳史・川井健司・絹谷幸二・草間彌生・小清水 漸・小谷津雅美・近藤嵩弘・齋藤 研・坂田甚内・桜井武人・桜井浜江・佐々木 豊・佐藤泰生・佐藤多持・篠原有司男・渋谷 清・下山直紀・鷲見和紀郎・高木聖鶴・高橋克之・田口貴大・田口雅巳・田澤 茂・辰野登恵子・田中信太郎・谷川晃一・谷保玲奈・内藤絹子・中野北溟・仲山計介・袴田京太朗・畠中光享・東野元昭・東山魁夷・比田井希仁・櫃田珠実・日比野光鳳・平松 譲・平松礼二・深見 隆・福島修子・藤井道子・藤原 雄・堀本惠美子・本田希枝・松本哲男・三上 浩・村山きおえ・森本妙子・山上晃葉・山本眞輔・山本直彰・劉 賢・吉武研司・渡辺豊重（五十音順・敬称略）

《 会期中のイベント 》

- **展覧会ガイド　3/9(日)・4/13(日) 各日14:00 ～ 40分程度**
  ※参加無料(観覧券必要)
- **春休み工作教室 ステンドグラス制作 3/22(土)・23(日) 各日13:30 ～16:00**
  募集対象：小中学生(保護者同伴のこと)　参加費：1セット500円(材料費)
  事前申込みが必要です。[申込み締切：3/20(木)]

《 同時開催(観覧無料) 》

- 佐久市児童生徒ポスターデザイン原画展 3/21(金)−4/6(日)

《 常 設 展 示 》

- 平山郁夫「仏教伝来」「天山南路」「出現」ほか
- 野外彫刻　駒場公園内に計21点の彫刻を設置しています。
- 中国陶磁器(吉沢コレクション)
  明・清時代の中国陶磁器を展示。41点の陶磁器と1点の堆黒皿を展示しています。

佐久市立近代美術館
油井一二記念館
SAKU Municipal Museum of Modern Art　since1983

主催　佐久市・佐久市教育委員会
佐久市立近代美術館　〒385-0011 長野県佐久市猿久保35番地5　TEL：0267-67-1055/FAX：0267-67-1068　E-mail:s-kinbi@city.saku.nagano.jp　URL http://museum.city.saku.nagano.jp/